



# 知方学便り

《学校教育目標》  
 ○よく考え進んで学ぶ子  
 ○明るく助け合う子  
 ○広く見つけがんばりぬく子  
 ○じょうぶで元気な子

釧路町大字仙鳳趾村字知方学41番地 TEL (FAX) 61-8335

## 「令和6年度のゴールに向けて」

校長 大和 洋一

令和7年がスタートしてから早くも1月が終わろうとしています。新年を迎えて、各ご家庭においては、今年叶えたい思いや願いを心に込めながら1月を過ごしてきたのではないのでしょうか。子供たちも人生の中の新しい1年を自己の成長につなげる抱負や目標を掲げて、日々の学校生活を「元気に、楽しく」送っている様子がうかがえます。本校のスケートリンクも完成し、早速使用できるようになりましたが、日によって気温が日中高い(+日)もあり、氷の状態を維持させるためにも、また1月上旬早々から保護者、教職員で労力をかけて初期氷づくりからの苦労を考えると、なんとか使用できるように毎日の天候、気温を願うばかりであります。リンク上で子供たちが楽しく、釧路地方の冬のスポーツを体験、満喫している姿には、リンクづくりに携わり、協力をして頂きました皆様には感謝の一言に尽きます。

さて、令和6年度も2ヶ月あまりとなりました。「ことわざ」にある「1月往ぬる2月逃げる3月去る」という言葉が思い浮かびます。「時があつという間に過ぎ」、その進む速さを感じながら、年度の終末を迎えることを想像してしまいます。3学期をスタートした子供たちは、「まとめの学期」として、今年度の学習・生活等での振り返りや、自己の成長を確かめながら3月の卒業式及び修了式に向けて、学校での学びを進めております。

今年度のゴール(目標、成長、成果と課題)に向けてということでは、「有終の美を飾る」という言葉をよく聞きますが、意味合いとして「終わりよければ全てよし」とは若干違うようで、「終末までをしっかりとやり遂げる難しさや大切さ」その中で「立派にやり遂げ成果を上げる」ことを表現したものとされており。では、子供たちやご家庭、教職員にとっての「有終の美」とは…。全校児童においては、自分の一年を振り返って充実したものであったのか、自らの成長を自覚し、次のステップに向けてのモチベーションを高めることなのではないかと感じます。特に卒業する6年生の児童にとっては、これまでの学校生活を通して、自らの進路(中学校入学)をしっかりと意識し、準備、又諸々な事柄を自己決定すること。他の学年では、また一つ上の学年に向けて、今の学年での学習や活動等の総まとめとなり、それぞれ次の学年での立場や、自分の役割を自覚していくことが望まれることにあると思います。児童の皆さんが次のステップでの活躍、堂々とした面持ちと自分の思いを行動に移す心意気に期待しております。

3月のゴールまで、一日一日をより大切にすることで、まとめとしての取組が充実したものになります。そこで、我々大人たちができること、子供たちに温かく接し、見守り続けながら、子供たちの成長を感じる瞬間を見届けたいものです。



## 2月【行事予定】

1月31日(金) 19:20~11:05 氷上運動会(予備日2/3)  
 2月12日(水) 13:20~15:30 昆中新入生体験入学(6年生)  
 2月16日(日) 町民カルタ大会(町公民館)

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	土		16	日	町民カルタ大会
2	日		17	月	短縮5時間 朝会 職員会議
3	月	短縮4時間 朝会 氷上運動会予備日	18	火	短縮6時間 ALT(1日) 放課後学習
4	火	表彰式(ラジオ体操コンクール) ALT(1日)	19	水	学習発表会(参観日・懇談会)
5	水		20	木	短縮5時間 出前授業(英語)5h スクールカウンセラー
6	木	短縮4時間 町研一斉研究集会	21	金	フッ化物洗口
7	金	委員会 フッ化物洗口	22	土	
8	土		23	日	祝日(天皇誕生日)
9	日		24	月	振替休日
10	月	朝会 いじめ根絶子ども会議	25	火	ALT(1日)
11	火	祝日(建国記念日)	26	水	短縮5時間 出前授業(音楽)5h 職員会議
12	水	2計測(低) ALT(1日) 昆中新入生体験入学・保護者説明会	27	木	なわとび記録会 体育館清掃 出前授業(英語)5h
13	木	短縮6時間 2計測(中) カルタ練習⑥ PTA役員会④	28	金	短縮5時間 フッ化物洗口 感謝の会(5・6年) 職員会議 定時退勤日
14	金	2計測(高) フッ化物洗口 児童総会(昼休み) 定時退勤日			
15	土				

# 1月の教育活動



## ●3学期始業式・冬休み作品発表会(1/15)

20日間の冬休みが終わり、3学期がスタートしました。インフルエンザ等の流行がある状況下でしたが、子どもたちは元気いっぱい、笑顔いっぱいで登校する姿があり、ほっと一安心でした。また、始業式後には、冬休み作品発表会が行われ、休み中に制作したものを発表しました。学年ごと作品展示もされていますので、学校に足を運ぶ機会がありましたら、ぜひご覧いただければと思います。



## ●避難訓練がありました(1/22)

1/22(水)に告知無しの避難訓練が行われました。今回は休み時間に大地震が発生し、理科室から火災が発生する想定でした。緊急放送を聞くこと、その後の避難行動を取ることが試されました。子どもたちは、場所ごとに正しい判断をし、安全な行動を取ることができていました。様々な災害に備えて、普段から「自分の身は自分で守る」という意識を再確認する良い機会となりました。



## ◎下の旬カルタ練習5回目を行いました(1/23)

3学期も引き続き、地域ボランティアの大友さん、川原田さんに協力をいただき、カルタ練習を行っています。今年度は6回の実施を予定しており、2/13の練習が最後となります。子どもたちは取れる札が増え、実践形式(3対3)の経験を積み重ねています。また、2/16(日)に行われる町民下の旬カルタ大会に知方学小チームとして出場する子どもたちもいます。練習の成果を発揮する良い機会として、頑張ってくださいね。

## ◎集合学習3回目を行いました(1/22・23)

昆布森小学校の子どもたちと今年度3回目となる集合学習を行いました。今回は、知方学小のリンクを会場に長ぐつアイスホッケーを通して交流を図っています。例年になく気温が高いこともあり、リンクコンディションが悪く、日程を変更しての実施となりましたが、無事実施することができて一安心しています。町民長木大会に向けて、各校良い練習の機会となりました。



## 【学校評価に関わる3者アンケートによる結果(R6後期)4段階評価】

※学校評価アンケートのご協力、有り難うございました。

番号	評価項目	評価者	各評価指標	評価(前期)	評価(後期)
1	授業の展開	教職員	児童が自分の考えを持ち、交流を通して高め合い、自分の学習の振り返りを位置づけた授業に努めている。	3.8	3.2
		児童	授業で友達と情報交換をしたり、最後に振り返りをしたりすることは必要だと思う。	3.9	3.9
		保護者	お子様が授業で友達と情報交換をしたり、学んだことを振り返ることは必要なことだと思う。	3.7	3.8
2	表現活動	教職員	児童が自分の思いや考えを表現する機会の設定と能力の育成に努めている。	4	3.6
		児童	友達の前などで、自分の思いや考えを表現できるようになってきた。	3.6	3.7
		保護者	お子様が以前よりも自分の気持ちを表すようになってきていると思う。	3.4	3.4
3	学習の運動	教職員	学力の向上を目指した授業、朝学習、家庭学習(宿題・自主学習)、放課後学習の効果的な運動に努めている。	4	3.6
		児童	授業や朝学習など、どの場面でも、しっかり勉強しようと思っ、いつも集中してがんばっている。	3.7	3.8
		保護者	お子様との会話や学習に取り組む様子などから、意欲的に学習に取り組んでいると思う。	3.1	3.2
4	掲示の工夫	教職員	児童の作品や頑張りの称賛などができ、学習意欲の向上に結びつく掲示の工夫に努めている。	3.8	3.1
		児童	教室や廊下に自分の作品などが掲示されていることは、次もがんばろうという気持ちにしてくれる。	3.6	3.7
		保護者	校内の掲示はお子様への称賛や学習意欲を高めるように工夫されている。	3.5	3.6
5	家庭学習の習慣化	教職員	家庭学習を習慣化するとともに、学力向上の手立てとして内容や方法などを工夫している。	3.8	3.4
		児童	自宅を毎日、宿題をしたり、自分で考えた自主学習をしたりしている。	3.7	3.8
		保護者	お子様は学年の目安時間を意識して、進んで家庭学習を行っている。	3	3.1
6	ICTの活用	教職員	授業で児童の主体的な学びのためにタブレットを効果的に活用している。	4	3.6
		児童	授業でタブレットを使うと、より進んで、勉強できている。	3.8	3.5
		保護者	お子様は学校や家庭で、タブレットを使用して学習することは必要なことだと思う。	3.7	3.5
7	道徳指導の充実	教職員	道徳的価値について、深く考えたり、交流したりする授業づくりに努めている。	3.5	3.2
		児童	道徳の時間は、自分の考えを話したり、友達の話の聞いたりしながら、考えることが多くなってきた。	3.5	3.5
		保護者	お子様は、そのときの場面や周りの人達に対して、よく考えて行動することができるようになってきた。	3.4	3.3
8	友達意識	教職員	自分や友達の個性を認め合える心情が育つように、適切な指導や機会の確保などに努めている。	3.6	3.6
		児童	いろいろな場面で友達と一緒に行動することで、友達の気持ちを分かちあられるようになってきた。	3.6	3.6
		保護者	お子様は友達と行ったことや協力したことなどのお話を聞かせてくれる。	3.5	3.6
9	自己認知	教職員	児童が周りの人々との交流を通して、感じたことを記録したり、発表したりするなど、自分自身を見つめることができるように努めている。	3.8	3.3
		児童	いろいろな場面で友達と一緒に行動したことを、後から振り返って反省することがある。	3.4	3.5
		保護者	お子様は、周りの人達との関わりについて、自分自身の言動を振り返って反省することがある。	3	3.3
10	体力づくり	教職員	体力の向上を意識して、日常的に運動の取組や体育の授業の工夫改善に努めている。	4	3.3
		児童	学校の休み時間や放課後、休日の時間があるときに、運動しようとしている。	3.7	3.6
		保護者	お子様は、ご家庭で体力向上のため、運動や外遊びなどをしている。	3.5	3.4
11	健康管理	教職員	手洗いやうがい等の呼びかけや適宜換気をするなど、感染症の防止に努めている。	3.6	3.5
		児童	手を洗うことやマスクを着けることなど、健康に気をつけた生活をしている。	3.8	3.7
		保護者	風邪や感染症等の予防のため、お子様は手洗いやうがいなどに努めている。	3.3	3.7
12	働く喜び	教職員	児童が自分の周りの人や公共のために働くことの喜びに気づいたり、役割を果たそうとする思いなどを育てている。	3.8	3.4
		児童	誰かのために働くことは楽しい。	3.6	3.8
		保護者	お子様は、家族のために楽しくお手伝いをしている。	3.3	3.4
13	努力の大切さ	教職員	児童が学習や行事等の目標に向かって努力することの大切さに気づくような取り組みをしている。	4	3.8
		児童	自分が決めた目標や課題解決に向けて、進んで学習したり、運動したりしている。	3.5	3.7
		保護者	お子様は学習やお手伝いなど、最後まであきらめずに取り組んでいる。	3.7	3.2
14	地域連携	教職員	地域との連携を生かした教育活動を計画的に実施し、協力をいただいている。	4	3.5
		児童	地域の方と一緒に勉強したり、活動することは楽しい。	3.7	3.7
		保護者	学校は地域と連携した活動を計画的に実施している。	3.6	3.6
15	基本的な生活習慣	教職員	朝ご飯を食べる、ゲーム時間の制限など、基本的な生活習慣を身につけさせるための指導をしている。	3.8	3.4
		児童	毎日、早寝早起きや朝ご飯を食べる、自宅でゲーム時間を守るなど、規則正しい生活をしている。	3.7	3.5
		保護者	お子様は早寝早起きや朝食をとる、ゲーム時間を守るなど、基本的な生活習慣が身に付いている。	3.3	3.2

☆ICTの活用、友達意識、健康管理、地域連携の4項目は、3者で3.5以上の高い数値結果から、前期からの意識した取組が成果として現れている。

★家庭学習の習慣化、道徳の充実、自己認知、体力づくり、働く喜び、基本的な生活習慣については、児童自身の評価は高いが保護者・教職員との認識の違いがある。特に家庭学習の習慣化や基本的な生活習慣の定着に向けては、今後も引き続き家庭と連携しながら、個々に応じた手立てを学校で進めていく必要がある。

●自分のケータイやスマホを持っている(低4名、中5名、高4名)→多くの児童が持っていることを踏まえ、使い方について学校・家庭とで情報共有を図っていくことが重要である。